

(別紙4(2))

事業所名: サポートピア花水木

目標達成計画

作成日: 令和2年8月21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災発生時の職員の役割分担について、現在の消防計画書では職種別で区別している。	現状のより詳しく、役割分担を明確にする。	職員が一人ひとり役割を遂行できるように、その日の勤務シフト別で役割分担を決める。そして、全員が迅速・的確な行動ができるために訓練・研修等を通じて、これまで以上に防災意識向上につなげる。	6ヶ月
2	54	入居時に、使い慣れた物や持ち込みによる環境づくりは大切だが、火気や刃物類の持ち込み不可については、入居前の説明時に口頭のみで伝えている状況。	火気や刃物類の持ち込みに関しては、防火上や危害を及ぼすおそれがあるため、持ち込み不可についての表記を行う。	危機管理の観点から、入居時のしおりや重要事項説明書に明記する。	3ヶ月
3	49	コロナ禍の影響により、計画していた外出支援(花見・ドライブ等)の実施が難しい状況。	入居者の方にストレスを溜めさせないためにも、新しい生活様式に応じた外出支援・行動の方法やアイデアを検討する。	感染予防に徹して、一例として2名程度の少人数で近場の店への買い物や外食ドライブ等行う。実施にあたっては、無理をせず、日頃より入居者・職員の体調を整えておく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。